
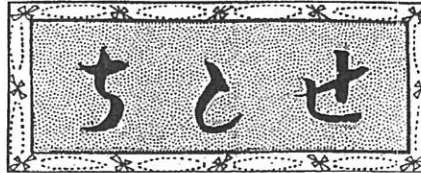


発行・編集 ミニコミ編集委員会
 責任者 齋藤 和子
 事務局 船橋まちづくり出張所
 電話 3482-0341
 2007・12 NO. 80号

まちの目が
 安全・安心を守っています



船橋地区町会・自治会連合会
 船橋地区身近なまちづくり推進協議会
 青少年船橋地区委員会／成城警察署／成城防犯協会



第18回船橋ふれあいまつりが11月3日(祝・土)希望丘公園で行われました。

船橋ふれあいまつりの由来

船橋会 鈴木 幸次

今年で第18回を迎えた「船橋ふれあいまつり」の由来は・・・昭和62年、世田谷区は地域に密着した行政サービス、地域の実態に応じた「まちづくり」をめざし烏山総合支所の設置を計画した。それにより砧第2出張所(現船橋まちづくり出張所)管内であった粕谷・八幡山地域が烏山総合支所管内に平成3年4月移行することになり、そのお別れ記念として企画されたのが「砧第2ふれあいまつり」である。第1回は平成2年11月3日(文化の日)に盛大に行われた。

まつりの運営は砧第2出張所管内の連合町会が主催で、まちづくり推進部会(緑化部会・安全部会・健康部会・美化清掃部会)、青少年地区委員会、日赤等諸団体の共同事業として企画され、消防署、警察署、千歳農協、清掃事務所の協力のもとに実施された。まつりの反省会の席上、地域町会連合会として今後も続けてほしいとの意見が多く出され、平成3年からは「船橋ふれあいまつり」と名前を変えて続けてきた地域のおまつりである。



フリーマーケット品の今むかし

船橋ふれあいまつりに係って、約十年になります。フリーマーケットで販売される物品によって、時代の変遷が感じられます。贈答文化といわれている日本、ひと頃は、お中元やお歳暮・慶弔のお返し・銀行等のサービス品で、狭い家の中は品物で一杯。それがまわり回って販売品となったのです。ところが、このところは高齢化と少人数所帯の増加、また個人の生活に対する意識が多様化しているのか集まってくる物品も横変わりし、食器なども一個二個単位での出品も多くなっています。さあ～て、我が家に不要な物はと・・・(T)

おまつり・・・こんな話・・・

迷子の親が子どもを引き取りに来たが、その親はお礼も言わず子どもを引き取り、その場を去った。常識を知らない親だと思ったが、引き渡す側の一言があれば、また違う形になっていたかもしれない。双方のコミュニケーション不足が問われる一件である。(M)

あなたはかけがえのないこの地球を大切にできますか？
 それは生命を大切にすることに還ってくるのです。

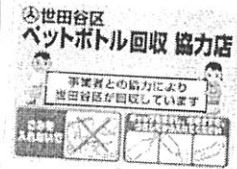
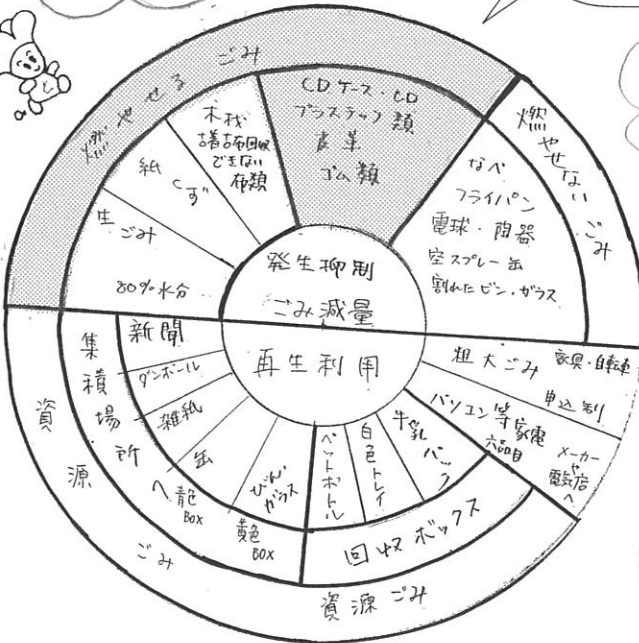
埋立処分場の限界を塗り変えよう！
 皆でやれば実現できる。

ごみの分別が変わります。
 平成20年〇月〇日改めましてお知らせします。

Q 燃やせるごみにして大丈夫なの？
 A 清掃工場の焼却能力が向上しダイオキシンは殆ど出ない。法規制数値以下です。

Q どう変わるの？
 A 燃やせないごみとしていた ゴム・皮革・プラスチック 類が燃やせるごみにかわります

Q なぜ変わるの？
 A 埋立処分場の延命化のため。10年以上延命化できると都では予想しています



このステッカーが目印です

Q 燃やせるごみに変ってどんな効果があるの？
 A
 1、立処分場の延命
 2、廃プラスチックを埋めるより燃やして発生した熱の有効利用(発電・温水)
 3、ごみの輸送距離が短縮され運搬による環境負荷や経費の低減ができる。

詳しいお問い合わせは・・・
 世田谷区砧清掃事務所
 3290-2151 まで

★船橋・千歳公園周辺の散歩道②★ 私たちの街、船橋と千歳台には「希望丘」という名の公園が四つもあります。希望丘公園・希望丘記念公園・希望丘北公園、そして希望丘公園です。

この希望丘公園に隣接し、西側にあるのが東覚院です。真言宗智山派で青林山薬王院といえます。お寺の「薬師如来御縁起」によれば、鎌倉時代一七八八年大和の長谷寺より月空という諸国を修行している僧がここに草庵を結んだのが、始まりであるとのこと。

ご本尊は薬師如来で、弘法大師の作といわれ、もと富士山の薬師ヶ嶽に安置されていたものを江戸時代の初め頃、水川明神の神主さんによって移されたとのこと。この神主さんは、両眼失明し、薬師ヶ嶽にこもってお告げを受け、薬師さまを安置する東の霊地を見かねて、安置するところが、廻沢の吉良氏祈願寺が無縁になって境内のみが残っていた東覚院だったのです。

弘法大師作の本尊薬師如来は秘仏のためその厨子の公開帳は、二十年ごとにすることになっており、現在、ここは区画整理により明るく開けた地域ですが、境内の黒松やけやきの大木に当時のおまかげを見ることが出来ます。

東覚院 千歳台4-11-11

「ひまわりくらぶ」に参加して

希望丘小学校六年 羽鳥 杏子
 都築 優女子

小学校四年生の時から三年間、私たちは「ひまわりくらぶ」の活動を続けています。「ひまわりくらぶ」は四年生以上でないと参加できないので、低学年の頃からずっと憧れていました。なので、四年生になったらすぐに「ひまわりくらぶ」に入りました。

初めはウエイトレスとして、二人で一緒にお客さんの注文を聞いて飲み物を運んだり、食器の後片付けをしたりしていました。まだ慣れていなかった頃は、お客さんが多くて忙しかったりすると、すごく大変でしたが、上級生から分からないことなどもたくさん教えてもらって、だんだん上手に出来るようになりました。

最近ではだいぶ仕事にも慣れてきて、材料の買い出しに行ったり、クレープや白玉だんごを作ったりしています。季節やイベントに合わせてメニューにカードを添えたり、時々、歌や合奏の出し物もしたりします。地域の方に喜んでもらえること、とても嬉しいです。

一年間の中でも一番楽しみなのは、秋に行われる「ふれあいまつり」にお店を出すことです。毎年、その時期になると、みんなで打ち合わせをしてテーマを決め、メニューを考えます。会場の飾りつけもします。去年のテーマは「おかしなきつさ店」でしたが、今年は「まんがきつさ」だったので、アンパンマンやドラえもん、ワンピースなどのキャラクターを使って、お店を作りました。大人のお客さんにも楽しんでもらえたのが嬉しかったです。

これからも、みんなで協力しながら、たくさんのお客さんに来てもらえるような楽しい「ひまわりくらぶ」にしていきたいです。そして、これからもずっと続けていきたいです。

ユニバーサル・デザイン

※地域研修会に参加して I.K



ユニバーサル・デザインとは、すべての人にとってより使いやすい社会環境を実現していくという考えだそうです。私はいまはなんの障がいもありませんが、ちょっとした段差でもつまずくことがあります。段差がなければ車椅子の人も普通の人もなんの支障もなく通れます。

2005年に開港した中部国際空港の設計には、障がいのある人も参加しました。トイレにおいては、空港は大きな荷物を持った人も多いので、トイレブースがちょっと大きいといういるな人が利用しやすくなると考え、大きさ・ドアの形など実寸模型による検討が何回も行われたそうです。また、つくったらおわり、ということではなくさらに問題点など検討し、次につなげて行くことが大切なことだそうです。

ある日の新聞に、ドイツでは階段で車椅子やベビーカーの人と居合わせると、一声かけあってみんなで協力している。日本にある駅の階段の車椅子専用のリフトはみかけなかった。と、読者の投稿が載っていました。

みんなが住みよいまちづくりは、人々もやさしいまちづくりでもあると思いました。

青少年船橋地区委員会主催・地域研修会
 11/19 船橋小学校において
 「みんなが住みよいまちづくりをめざして」
 ～バリアフリーからユニバーサル・デザインへ～
 講師 川内 美彦氏

地域のちょっといい話・・・

- ★船橋会が成城消防署から地域防災啓蒙に尽力したと感謝状を受けました。
- ★船橋小径の会が世田谷区環境表彰(普及・支援部門)を受けました。
- ★千歳台小学校が東京都模範青少年表彰(団体)及び世田谷区青少年表彰(団体)を受けました。(蘆花恒春園の花壇の手入れ等)
- ★青少年船橋地区委員会子どもぶんか村「音楽くらぶ」ジュニアコーラスが世田谷区青少年表彰(団体)を受けました。(区内施設での出前コーラス等)



「映像くらぶに入って」
 希望丘中学校2年 吉江 馨

私は、映像くらぶに入ってから映画の制作について、いろいろ考えるようになりました。例えば、映画をつくる大変さや、どんなふうにこの映像をとっているんだろう、などと、疑問も多数出てきました。でも、映画づくりの中で、撮影が進めば進むほど、その疑問も、一つひとつ解決していききました。解決すれば、撮影への面白みや、作る楽しさ、みんなも、どんどん増えていきました。そして、いつの間にか、撮影の知識も身につけていきました。

活動をすればするほど、映画への関心も深まり、映画を観ていると、内容は面白くはなく、その映画の制作構造にも興味をもつようになりました。

映像くらぶは、一石二鳥ではなく、一石何鳥にもなる素晴らしいくらぶです。

船橋地区社会福祉協議会
 歳末たすけあい募金のご協力ありがとうございました。



千歳台小学校
 ～活動している方に聞きました～
 子ども見守りパトロール隊
 人員構成 PTA、老人会等 39名
 開始時期 平成18年9月より
 範囲 千歳台1～5丁目 (4班で構成)

現況報告
 ① 千歳台2、3、4丁目は公園が多く、その周辺には事故車が多く子どもの引き込み等に気を使っている。
 ② 子どもが公園に寄り道をして帰ることがある。通学路をスピードを出している車があり注意を要する。
 退校時に合わせて散歩しながら見守る方もいる。(S)

安全パトロールの現状

船橋小学校子ども安全ボランティア活動

船橋小 副校長 若林 正人
 昨年11月に始まった子ども安全ボランティア活動も、1年が経過し、PTAや地域の方々を中心に、登録している人数も80名を超えました。パトロールは、主に子どもの下校時間帯に行われ、子どもの様子や地域の危険な場所などをチェックして、日誌に記入し、月に1度開催されるミーティングで、情報の共有化、安全についての共通理解に努めています。この1年間で、子ども安全ボランティア活動に対する周囲の理解も深まりました。緑のベストとオレンジや黄色の腕章をつけてパトロールしている人を見ると、子どもたちも安心してあいさつをしたり、周囲から「ご苦労様」と声をかけられたりします。
 土曜の夕方には、オヤジの会もパトロール活動に参加することになり、活動の意識も高まっています。さらに活動の工夫を積み重ね、防犯や交通事故などの防止に努めていきたいと考えています。パトロール活動に協力していただける方は、ご連絡ください。

希望丘小学校の取り組み

希望丘小学校PTA会長 大垣 真理子
 昨年からはじめた、「安全ボランティアパトロール」。今では、すっかり定着してきました。
 児童数の少ない我が校は、当然、保護者の数も少なく、仕事を持たれている方も年々増え、頻繁なパトロールがなかなかできない現状の中、子どもたちの登下校におけるパトロールを、地域の方々にも担っていただけるのは、保護者として、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。
 今後、この取り組みを通して、子どもたちの通学路の安全確保はもちろんですが、今まで以上に、学校を中心に、子どもたちの「育ち」を多くの地域の方々と共に、子どもたちが生き生きと安心して成長してける地域づくりができることを願います。安全ボランティアのみなさん、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

～編集後記～
 秋の船橋ふれあいまつりが終わり、12月も残りわずかとなりました。今年一年を振り返ってみると、烏山川緑道の桜小路が開通、船橋児童館付近の対面通行化、安全面では防犯力メラの設置や交番の24時間体制復活など様々な出来事がありました。今後とも人口が増加していけば、地域の活性化が期待され、安全や環境も重要な課題になっていくと思われれます。
 ミニコミ紙の記事について、取材や情報提供にご協力いただきありがとうございます。来年も、地域に密着した紙面づくりができるように心掛けますので、よろしくお願いたします。(M)